

第二セシウム吸着装置(サリー)のサンプリングラック からの溢水について

< 参考資料 >
2015年9月29日
東京電力株式会社

○日時 2015年9月29日5時29分頃

○場所 高温焼却炉建屋1階

○漏えい箇所 第二セシウム吸着装置(サリー)のサンプリングラック

○時系列

5:29頃 第二セシウム吸着装置(サリー)のサンプリングラックからの溢水を確認。
建屋外への漏えいはなし。

5:57頃 床面への漏えい範囲を確認。
3m×4m×3mm

6:31頃 サンプリングラックへ流入していたサンプリング弁、全10箇所の弁「閉」操作を実施。

7:40頃 漏えい量が滴下程度まで減少したことを確認。

8:02頃 サンプリングラックからの溢水停止確認。

10:54頃 漏えい水の回収開始。

12:19頃 漏えい水の回収完了。

○漏えい量 約210リットル(回収量より想定)

○溢水した水のサンプリング結果:

セシウム134: 2.8×10^5 Bq/L、セシウム137: 1.2×10^6 Bq/L、全ベータ: 3.3×10^6 Bq/L

○状況

・ドレンホースを約40～50cm持ち上げ固縛したことから、ホースの圧損が上がりホースから排出できる量が減ったため、サンプリングラックの流入量が排水量を上回り溢れてしまったと考えられる。

・ホース自体からの漏えいやホースのつぶれ等はなく、通水確認においても異常のないことを確認した。

○原因

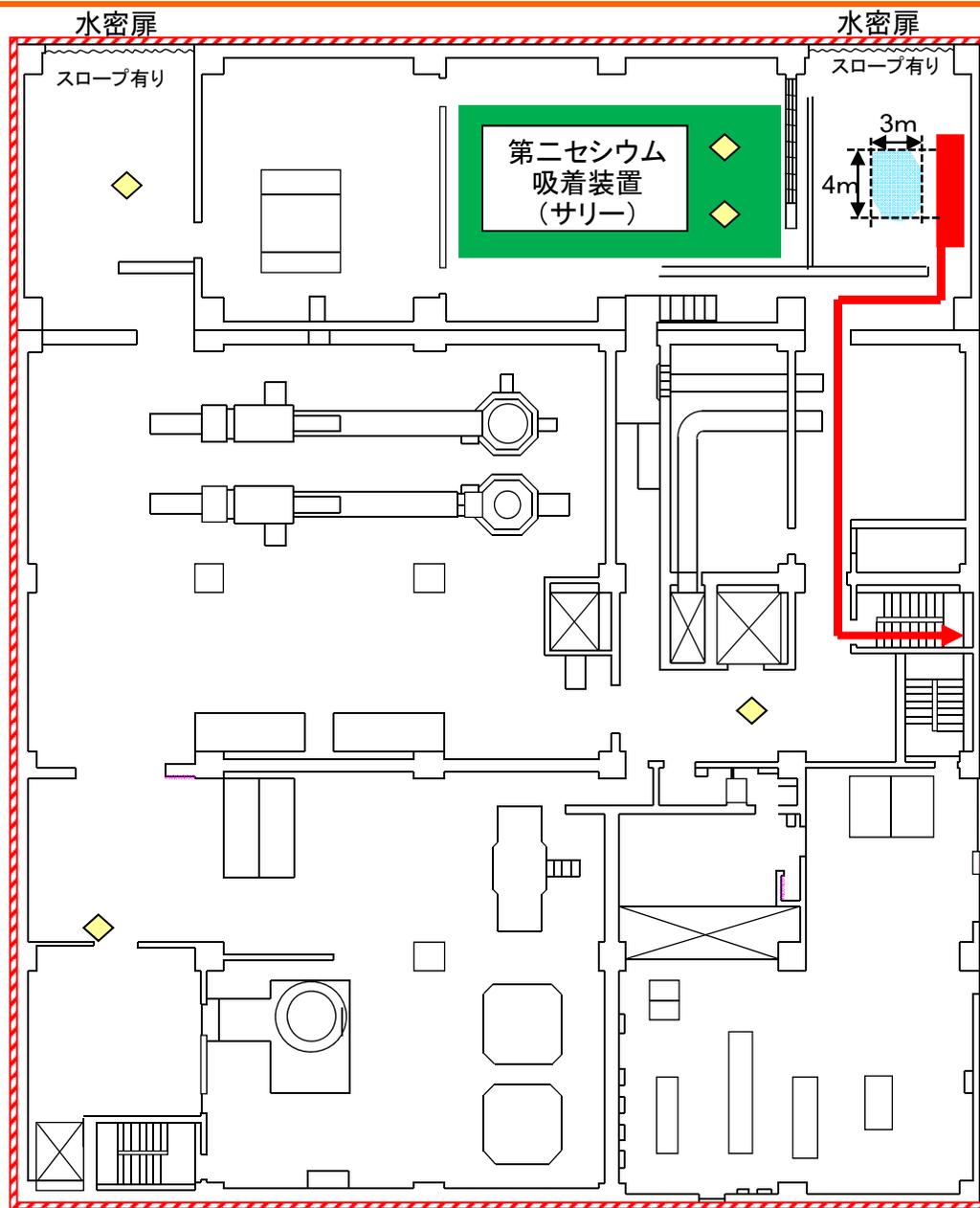
ホースを途中で持ち上げ固縛したことにより、流れづらくなってしまったことからシンクから溢れてしまった。

○対策

・注意表示札の取付を実施する。

・ドレンホースの流れをスムーズにするため、ホース自体の交換と上下変動のより少ない敷設とする。

○状況図



- : サンプルラック
- ▨ : 堰
- ◇ : 漏えい検知器
- : ドレンライン
- (点線) : 漏えい箇所

